

オーソン・ウェルズのフォルスタッフ (1966)

FALSTAFF
CAMPANADAS A MEDIANOCHE
CHIMES AT MIDNIGHT

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 スペイン/スイス
色彩 Color
時間 116分
初公開日 1986/10/10
公開情報 フランス映画社

【解説】

終生シェイクスピアに拘り続けたウェルズが、『ヘンリー4世』『リチャード2世』『ウィンザーの陽気な女房たち』等の脇役ー大酒呑みで女たらしの大ボラ吹き of 追い剥ぎで、けれども憎めない巨漢の騎士フォルスタッフに堂々とした体躯でもってなりきった、その集大成的傑作。15世紀イングランド。放蕩王子ハル（バクスター）を引き入れ、田舎の安宿で娼婦ドル（モロー）と共に暢気に暮らすフォルスタッフは、ハルらと遊び半分の強盗をしたり、ふざけて王と王子ごっこ（バケツを王冠にする）に耽ったり。が、国王ヘンリー4世（ギールグッド）に王子共々呼び戻され、王位継承をめぐる合戦（黒澤真っ青のカット数で、荒々しく描いて大迫力。フォルスタッフの死んだふりが爆笑もの）に参加、王子の手柄は自分の手柄と、そこでも爽快にホラを一席ぶつのだった。が、やがて死の床の王を看取ったハルはヘンリー5世に即位。無情にも王は、かつての無頼の象徴として、出世を期待するこの老友を遠ざけ、追放処分とするのだった。そして、老騎士は傷心を抱えて数日もしないうちに衰弱死してしまう……。唐突だが胸にしみる悲劇的な結末の余韻の中に、力強い喜劇演出でのカメラワーク、アクション、国王登場の場面や後半の戴冠式でのグロテスクな空間把握などがふつふつと甦って、再び映画全容をありありと呼び起こすことができる稀有な作品。すべてが終わってから始まるような感覚とでも言うか……。若々しい極道者の王子が肅然と自らの元いた場所に還っていくさまをバクスターも感情を抑え込まず、適確に表現している。全編スペインで撮影され、そのセットも特筆すべき出来だ。

【クレジット】

| | | |
|----|--|--|
| 監督 | オーソン・ウェルズ | Orson Welles |
| 原作 | ウィリアム・シェイクスピア ラファエル・ホリンシェッド | William Shakespeare |
| 脚本 | オーソン・ウェルズ | Orson Welles |
| 撮影 | エドモン・リシャール | Edmond Richard |
| 音楽 | アンジェロ・フランチェスコ・ラヴァニーノ | Angelo Francesco Lavagnino |
| 出演 | オーソン・ウェルズ キース・バクスター ジョン・ギールグッド ジャンヌ・モロー イングリッド・ピット マーガレット・ラザフォード マリナ・ヴラディ ワルテル・キアーリ | Orson Welles Keith Baxter John Gielgud Jeanne Moreau Ingrid Pitt Margaret Rutherford Marina Vlady Walter Chiari |